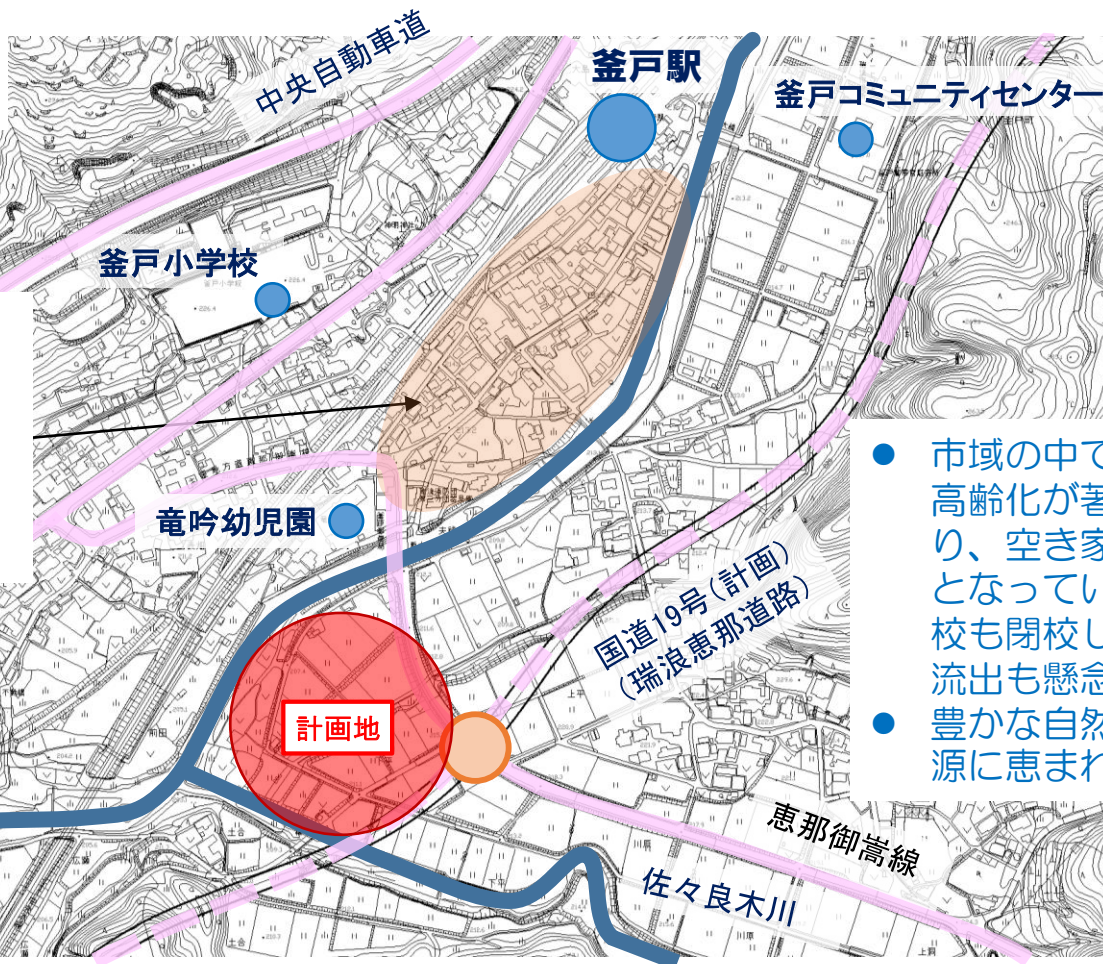


前回までの検討内容

■計画地周辺の現状

- 竜吟湖や水晶山、大湫宿などの観光資源がある



- 駅前でありながら商店が減少し、日常の買い物が困難
- 診療所がない
- 温泉旅館がある
- 人の流れがない

- 市域の中でも人口減少・高齢化が著しい地区であり、空き家の増加も課題となっている（釜戸中学校も閉校し子育て世代の流出も懸念）
- 豊かな自然や温泉等の資源に恵まれている

■瑞浪市のまちづくりにおける道の駅検討の経緯

- まちの人口が減少するなか、新たな人の流れが生まれることをチャンスと捉え、交流人口を上手に取り込み、まちに関わる人の全体の人口を増やすことで、「暮らしやすさ」を実現するための機能（小売店や飲食店など）を導入し、まちのにぎわいも創出できる可能性があると考える。
- ⇒ まちとの交流人口を増やす手段として、道路利用者の休憩施設である「道の駅」の整備を検討する。

住民のたまり場となる “釜戸の暮らしの拠点”

瑞浪市及び釜戸地区を取り巻く環境が大きく変化するなかで、10年後であっても計画地周辺が、釜戸地区の暮らしの魅力を継承しつつ、社会ニーズに応じた新たなまちへと展開できるよう、「釜戸の暮らしの拠点」として、具体的には下記の5つの姿実現をめざします。

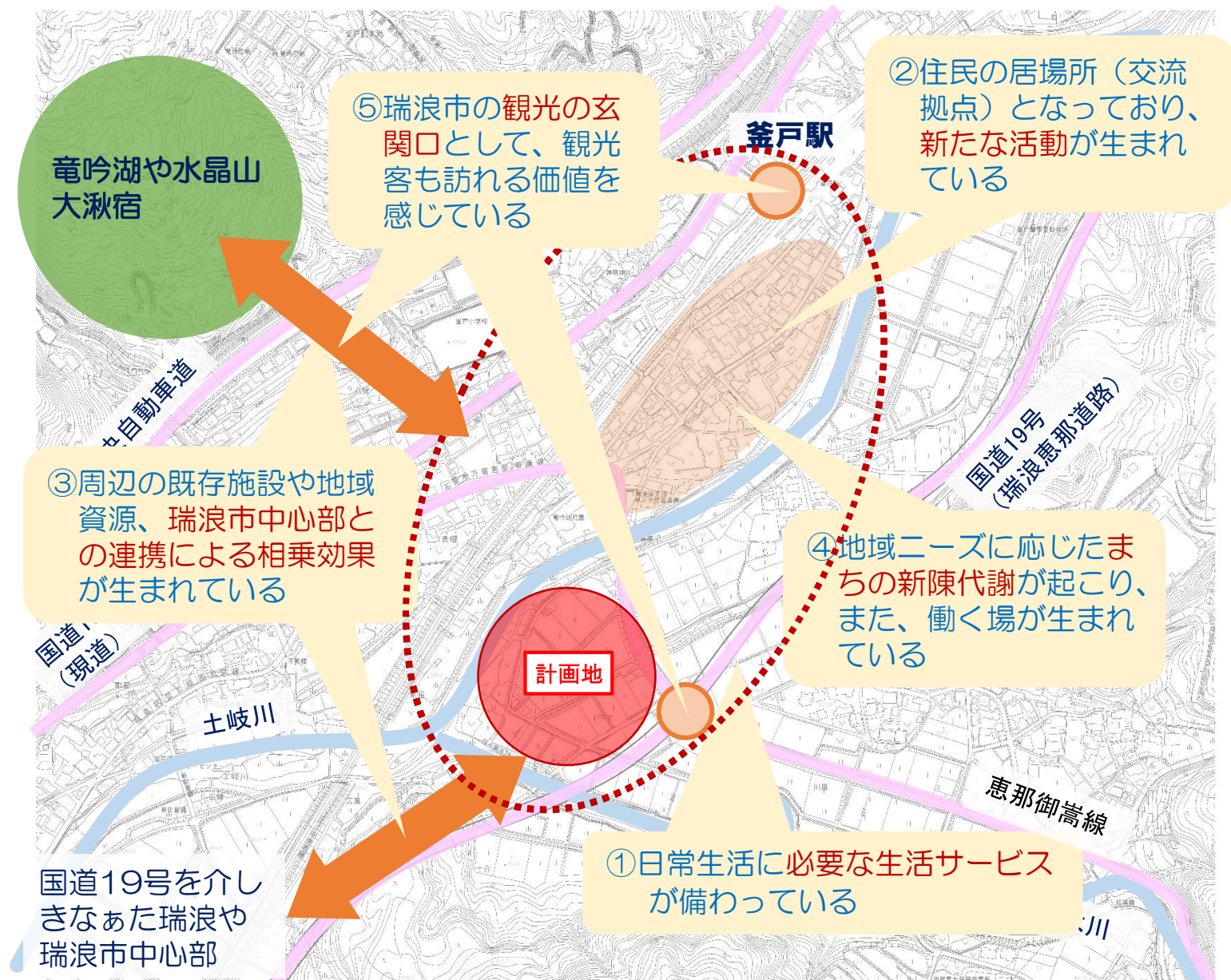
- ①日常生活に必要な生活サービスが備わっている
- ②住民の居場所（交流拠点）となっており、新たな活動が生まれている
- ③周辺の既存施設や地域資源、瑞浪市中心部との連携による相乗効果が生まれている
- ④地域ニーズに応じたまちの新陳代謝が起こり、また、働く場が生まれている

国道19号瑞浪恵那道路が新たに整備
されることから・・・



- ⑤瑞浪市の観光の玄関口として、観光客も訪れる価値を感じている

①～⑤のいずれの柱についても実現するためには長い時間を要する！



【メインターゲット】

- ・釜戸の「暮らしの拠点」を利用する瑞浪市民や釜戸地区の住民（子どもから高齢者まで）
- ・国道19号（瑞浪恵那道路）を利用する道路利用者

【コンセプト】

本施設のコンセプトとしては、次の前提条件を念頭にしています。

- ・釜戸の「暮らしの拠点」の一翼を担う施設
- ・10年後の地域ニーズに応じた柔軟な対応ができる施設
- ・長期に渡る段階的な施設整備を念頭に、施設整備の検討段階から開設・運営に至るプロセスを共有し、試行を重ねながら積極的に関わることのできる、住民主体の道の駅

“まちとともに育つ道の駅”（案）

【釜戸地区の住民の暮らしを支える】

○日常の買い物や交通利便性の確保

⇒よろずや（日用品等が手に入る小売店）、交通拠点

○災害時の安全性の確保

⇒避難施設、備蓄倉庫

○多様な楽しみ方の創出（暮らしの質を高める）

⇒子供が安心して遊べる公園、多様な飲食店



【釜戸地区から賑わいを創りだす】

○既存資源の活用

⇒自然に囲まれた広場、上平用水や佐々良木川を活かした水辺空間の創出、きなあた瑞浪や他の市内資源との連携

○釜戸地区の個性の発揮

⇒釜戸の特産品の開発、特産品を活用した土産販売や飲食店、農業等と連動した体験プログラム、地元の祭りとの連携、イベント等による新たな個性の創出

○釜戸住民と来訪者の交流促進

⇒カフェ等の飲食店、交流拠点づくり（広場、イベントスペース等）、音楽やアート等多様なイベントの実施



道路利用者が道の駅に立寄ることで、**新たな需要が生まれる**ため、これまで地域内で**商圈を成立させることが難しかった機能**を道の駅に導入できる可能性があります。

◆スーパー、コンビニ等の商業施設

- ・国道19号と恵那御嵩線の計画交通量は、およそ**2万台/日**であり、そのうち**約4,000人**の道路利用者が道の駅に立ち寄る可能性があります。
- ・**コンビニやミニスーパー等(約200~500㎡)**であれば、道の駅に導入できる可能性があります。

◆飲食施設

- ・現状では、エリア周辺に飲食店がほとんどありませんが、道の駅に併設することで**道路利用者の集客を見込むことができます**。
- ・サービスエリアにおけるレストランの規模算定式に従って計算した場合、**約250㎡(客席104)**であれば、道の駅に導入できる可能性があります。

計画地は土岐川と佐々良木川に面し、**良好な景観を有している**ことから、これらを生かした計画とすることを考えています。

◆活用方法

- ・近年では、国の方針として**河川空間のオープン化**が推進されており、河川区域において以下のような施設の占用許可を受けられるようになっていきます。

広場／イベント施設／遊歩道／船着場／前述の施設と一体をなす飲食店、キャンプ場等／
日よけ／船上食事施設／川床／その他都市及び地域の再生等のために利用する施設